韓国旅行業協会（KATA）の梁武承会長（右）と菊間会長

国際機関太平洋諸島センター・小川和美所長（右）

要人往来

2月のトップニュースはやはり日・韓旅行業協会の両トップが懇談されたこと。ツーウェイツーリズムの活性について両トップとも前向きに意見交換されました。両国間の人的交流がもっと大きなうねりとなることを期待します。

マサチューセッツ州の観光局、サプライヤーの各氏と意見交換

マレーシア航空の季寶頡（リー・ポー・ケイト）北アジア・北米地区代表統括副社長（中央左）を囲んで

日・韓旅行業協会の両トップが懇談 訪日韓国人観光客のさらなる拡大で同意

韓国　2月1日（金）

韓国旅行業協会（KATA）の梁武承会長と菊間会長

KATAの梁武承会長とJATA菊間会長が今後の観光拡大の取り組みについて懇談されました。「KATAはセミナーやフォーラムなど、ビジネス交流を拡大するために、さまざまな仕組みづくりに取り組んできたが、さらなる拡大のため、地方自治体との交流を活性化させていきたい」と梁武承会長。

菊間会長は、「韓国からの訪日観光客数が増加していますが、訪日観光客に満足していただくために、4月から新しい受け入れ規定を導入する予定です。韓国旅行業界が提供する、高品質観光商品を見習い、引き続きクォリティーの高いツアー商品や環境を提供していきたい。また、自治体や旅行業界とコミュニケーションができる機会が増えれば、よりよいビジネス環境が作り上げられます」と応えました。

太平洋諸島への誘致で意見交換

太平洋諸島センター　1月31日（木）

国際機関太平洋諸島センター・小川和美所長

JATA中村理事長を訪問し、太平洋諸島センターの目標や促進活動について懇談。同センターは若者を対象にしたキャンペーンに加えて、さまざまなPRイベントに積極的に参加しており、「今後とも、太平洋諸島への観光客を増加させるために、JATAのご協力をお願いしたい」と小川所長。

中村理事長は、「JATAとしては、セミナーやファムツアーについて、協力することができるほか、JATA旅博に出展いただくとステージやセミナースペースが提供できます」と応えました。

ニューイングランド地方への研修旅行実施も

ボストン・マサチューセッツ州　2月5日（火）

マサチューセッツ州の観光局、サプライヤーの各氏が訪問

同観光局やサプライヤー各氏が観光セミナーのため来日し、JATA本部を訪問。日本からの観光客を誘致するため、「ニューイングランド地方へファムツアーを実施したいのでぜひJATAの協力をいただきたい。今後、シニアマーケットに加えて、若者市場も拡大していきたい」とアピール。

「日本人にとって、アメリカの認知度は高く、成田―ボストン間の直行便が運航されてから、日本人の観光客が増えています。旅行会社と定期的に接触し、観光セミナーやファムツアーなどを実施していただければ、効果が期待できます。また、JATAとしては、日本・アメリカ交流年ということで各種セミナーを行っていますが、これからも協力をお願いしたい」と中村理事長。

両国間の航空座席の増加方針で一致

マレーシア　2月8日（金）

マレーシア航空の季寶頡（リー・ポー・ケイト）北アジア・北米地区代表統括副社長

JATA菊間会長を訪問し、日本―マレーシア間のフライトを増加する方針について言及されました。「マレーシアは観光インフラが整っており、新しい観光スポットも開発されています。今後、成田―クアラルンプール間の定期便を増やしたい。日本からの観光客が増えていますが、より多くのお客様にマレーシアを訪れていただくために、羽田や関西空港からフライトを増やすように交渉しています」。菊間会長は、「日本の旅行業界からは成田―コタキナバル路線の復活について要望が多い。また全体的に現在、供給座席が十分でなく、それが日本人観光客増加のネックになっている。2カ国の便数が多くなれば観光客も増えるでしょう」と話されました。